

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 8 期第 6 回相模原市緑区区民会議		
事務局 (担当課)		緑区役所区政策課 電話 0 4 2 - 7 7 5 - 8 8 0 2 (直通)		
開催日時		令和 7 年 9 月 9 日 (火) 午前 1 0 時～ 1 1 時 4 0 分		
開催場所		緑区合同庁舎 4 階 集団指導室		
出席者	委 員	1 2 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	6 人 (区長、副区長、他 5 人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 議題 緑区基本計画の進捗状況について 3 その他 4 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（◎は会長の発言 ○は委員の発言 ●は事務局の発言）

1 開会

緑区役所区政策課長の進行により、会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議公開の確認、並びに傍聴希望者がいない旨の報告を行った。

また、相模原市緑区区民会議規則第3条第2項において「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」と規定されていることから、後任の副会長について委員に諮った結果、全会一致で田野倉委員が選出された。

2 議題

牧瀬会長の進行により、議事が進められた。

緑区基本計画の進捗状況について

事務局から資料に基づき、今回の審議内容である取組目標Ⅲ「『守り合う・助け合う』まちづくり」の内容について説明を行ったのち、地域における取組及び課題の抽出ならびに今後の展開について、2班に分かれて意見交換を行った。

<各班の主な意見>

【A班】発表者：前山委員

(1) 防災について

これまでの地域での取組の成果

- 避難ルートや危険箇所を更新しながら、年1回の防災訓練を実施している。
- 8月31日に実施された市総合防災訓練にも参加した。
- セコム等と連携した防犯カメラの設置や防犯パトロールを実施している。

意見・課題

- 橋本地区では道が狭く、車が入れない場所がある。
- ファミリー・サポート・センターの活用が不十分である。
- 障がい者や外国人、帰宅困難者など、多様性への理解や配慮が不十分である。
→市内に約1.7万人いる外国人に対し、避難訓練ができていないのか。
- 自治会加入の有無による支援の区別はないようにしなければならない。
- 避難訓練が形骸化しており、避難後のイメージが持てていない。
→例えば学校での訓練では、校庭へ避難した後はどうするのか。
- 女性への配慮の不足。簡易トイレの数が少ないことを市は認識しているか。
- 避難後の生活が我慢続きの生活にならないようにすることが重要である。
- ひとり親家庭や共働き家庭が多くなり、引き取り訓練に祖父母が参加する家庭が多いが、実際に被災した場合に親自身がどのように動くか把握できていない

のではない。

○防犯カメラのメンテナンスが経済的な負担になっているため、市の補助金額の増額を希望する。

○災害時の交通網の予備電源のサポートがきちんとできているのか。

(2) 防犯・交通安全について

意見・課題

○道志の水源エリアにおける防火帯の整備はどのようになっているか。

○中山間地域での神奈中バスの運行廃止に伴うサポートがきちんとなされるか。

○クマやヤマビルへの安全対策や現状把握をしてほしい。

○キャンプ場の安全対策が必要。

○富士山噴火等に対する対策をきちんと想定しておくべきではないか。

(3) その他

○区民会議を含め、形式的になっている。市民の代表の意見が全て反映されていないため、2泊3日の合宿など時間を設けて市民の意見が反映されるようなシステム構築を求める。

【B班】発表者：山本委員

(1) 防災について

これまでの地域での取組の成果

○過去に死亡事例があった場所を地域で環境整備した。

○土砂災害等が起りやすい場所を土木専門員と共にバスで見学した。

○公園等で親子に向けた防災クイズを行っている。

○さがみ湖MORIMORIでは、山火事を想定した消防車20台による訓練を実施した。

○避難者の孤立対策として、ヘリ6機が出動する訓練を実施した。

意見・課題

○衛星無線の周知が必要。

○災害時に高齢者が取り残される問題について、救護する側の人的不足や教育が行き届いていないことが課題。勉強会を開いても若者の参加率が低い。

○消防団の人的資源が薄い。

○熱中症対策として、プロパンガスや発電機を使用した冷房の設置が必要。

(2) 防犯・交通安全について

これまでの地域での取組の成果

○デジタル犯罪についての講演会や学習会を地域センターなどで開催した。

○警察を交えての20分間の勉強会の実施やパトロールを実施している。

意見・課題

○レジャー客が多い中山間地域ではスピードを出す車が多いため、減速を促す道路ペイントを行ったらどうか。

○見守りをしてくれる人に対し、表彰などの目に見える労いが必要ではないか。

○防犯カメラや街灯の増加が必要。

◎牧瀬会長

今回のテーマは「『守り合う・助け合う』まちづくり」だが、実際に災害が発生したら守り合うことができない。予防や準備、復旧・復興の段階では「守り合う・助け合う」ことは可能だが、実際に災害が到来したらどうするか考えないといけないと改めて感じた。災害が到来したらまずは自分の身を守る、自助のまちづくりが必要。さらに、市外から通勤している行政職員も多いため、行政の登場・支援も期待できないかもしれない。

また、今後一層外国人が増えていくと予想されるため、外国人との関係についても考えていく必要がある。次回、緑区在住の外国人の数を事務局から提示してもらい、次期計画に盛り込んでいくか検討したい。

3 その他

次回の区民会議は11月10日（月）午後、次々回は12月24日（水）午後とし、時間や会場については決まり次第ご連絡させていただく。

また、原委員より、区民の代表として参加しているこの人数の意見を小一時間で集約するのは不可能である。区民会議のみに限ったものではないが、市民の意見を集約するものとして、もう一段の改善を求めたいとの意見があった。

4 閉会

相模原市緑区区民会議委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	出欠席
まちづくり会議	○田野倉 義信	橋本地区まちづくり会議	出席
	佐藤 金男	大沢地区まちづくり会議	欠席
	林 和博	城山地区まちづくり会議	出席
	関戸 仁	津久井地区まちづくり会議	欠席
	河津 暁	相模湖地区まちづくり会議	欠席
	宮野善三郎	藤野地区まちづくり会議	出席
関係団体	石井 敏夫	相模原市２２地区社会福祉協議会緑区連絡会	出席
	立川 直子	相模原市民生委員児童委員協議会	欠席
	佐藤 稔	相模原市ＰＴＡ連絡協議会	出席
	池田 孝夫	相模原商工会議所	欠席
	森下 裕司	津久井地域商工会連絡協議会	欠席
	原 幹朗	公益社団法人相模原市観光協会	出席
	沼尾 将輝	公益社団法人相模原青年会議所	欠席
	畑野 栄久	公益社団法人津久井青年会議所	出席
	高橋 靖典	一般社団法人藤野エリアマネジメント	欠席
	山本 祐子	特定非営利活動法人ふじの里山くらぶ	出席
	前山 善憲	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら	出席
学識経験者	◎牧瀬 稔	関東学院大学法学部 教授	出席
区民	猿渡 達明	公募委員	出席
	高村 るみ	公募委員	欠席
	山下友梨子	公募委員	欠席
民間事業者	奥平 麻由	相模湖リゾート株式会社	出席
	櫛見 大	東日本旅客鉄道株式会社	欠席

◎は会長、○は副会長